

■■化学療法投与計画書《GC療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp)ゲムシタビン(ジェムザール) 100mg/m² day 1,8,15
 シスプラチン(ランダ) 70mg/m² day2

レジメンコメント1
レジメンコメント2

本管①	Day2
ラクテック"G"輸液	500mL 1 袋

本管②	大塚糖液5% 500mL 1 袋
-----	------------------

側管①	大塚糖液開始時60分かけて
グリセオール注	200mL 1 袋

アプレピタント125mg1カプセル内服(シスプラチン投与開始1~1.5時間前)

側管②	シスプラチン開始前15分かけて
パロフセトロン点滴静注	1 袋
バッグ0.75mg 50mL	
デカドロン注射液1.65m	6 管

本管③	※溶解後遮光※
大塚生食注	500mL 1 袋
シスプラチン	mg
ランダ注	50mg/100mL:
ランダ注	10mg/20mL:

- アプレピタントカプセル
Day2 125mg
(シスプラチン投与開始1~1.5時間前)
- デカドロン錠4mg
Day3,4,5 2錠(8mg) 2×/Day

本管④	KN3号輸液500mL 1 袋
-----	-----------------

本管⑤	KN3号輸液500mL 1 袋
-----	-----------------

本管⑥	KN3号輸液500mL 1 袋
-----	-----------------

Day3へ続く

<実施時の注意>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。

●シスプラチン
 アルミニウムと反応して沈殿物を形成し、活性が低下するのでアルミニウムを含む医療用器具を用いないこと。
 光により分解するので直射日光を避けること。点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。

<注意すべき副作用>

●発熱 ●食欲不振、吐き気 ●血管痛、静脈炎 ●口内炎 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など)
 ●手足のしびれ ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少
 ●腎機能低下 ●肝機能低下